



平成 28 年 1 月 15 日

独立行政法人国立科学博物館

### 「世界一美しい花木：ヨウラクボク」が日本で 2 回目の開花！

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 岩科 司)において、ヨウラクボク(マメ科)が開花しました。

日本国内におけるヨウラクボクの開花は非常に珍しく、これまで高知県牧野植物園で記録されただけでした。筑波実験植物園では、2009 年に栽培を開始して、今回初めて開花しました。国内では 2 例目の実績となります。花は掌ほどの大きさで、オレンジがかった明るい紅色をしており、1 月 24 日(日)頃までが見ごろとなります。

ヨウラクボクはミャンマー南部に自生する高木で、気品あふれる花容から「世界一美しい花木」と称されます。19 世紀、英国のデヴォンシャー公爵は、この植物を導入するため現地にプラントハンターを派遣し、専用の温室を建てたほどでした。しかしながら栽培・繁殖が難しいため、熱帯以外で花を見るチャンスは今日に至るまできわめて稀です。

また 1826 年に発見されて以来、野生個体は 2 回しか見つかりません。現在も自生地は謎で、生態もまったく解明されていない幻の植物です。ぜひ、この機会にこの貴重な植物の開花をご覧ください

つきましては、本件について、取材・記事の掲載など広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：遊川知久(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: [tbjimu@kahaku.go.jp](mailto:tbjimu@kahaku.go.jp)

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

## ヨウラクボクの開花について

### 1. ヨウラクボクについて

学名：*Amherstia nobilis*（アムハースティア・ノビリス）

和名：瓔珞木（ヨウラクボク）。仏像の首飾りや荘厳具として用いられる瓔珞に、  
花をたとえたもの。

科名：マメ科

分布：ミャンマー南部

特徴：常緑の高木で、高さは15m程度。マメ科で最長の花序をつけ、長さ90cm  
にもなります。また新葉は束になって垂れ下がり、オレンジがかった明るい  
紅色で目立ちます。

### 2. 今回の開花について

開花日：平成28年1月8日（金）

花の見ごろ：平成28年1月24日（日）頃まで

展示場所：当園熱帯雨林温室内

当園での開花：2009年に栽培を開始してから初めて



植物の全景



花の写真